

28 主税調第 26 号
東京都税制調査会

下記の事項について諮問します。

平成 28 年 8 月 2 日

東京都知事 小池百合子

記

1 諮問事項

地方分権の時代にふさわしい地方税制、国・地方を通じた税制全体のあり方、その他これらに関連する諸制度について意見を求める。

2 趣旨

少子・高齢化、グローバル化の進展など社会経済を取り巻く環境の変化の中で、日本の未来を切り拓く新しい動きを東京から創り出し、都民、国民が夢や希望の持てる社会を実現していかなければならない。

昨今、東京への一極集中を是正するという名目により、地方創生の議論が活発化しているが、これを「大都市」と「地方」の対立の構図で捉えるべきではない。今求められるのは、東京を含む地方がそれぞれの力を活かしてともに栄える国づくりである。

このため、地方分権改革をさらに推進し、真の地方自治を確立する観点から、標記の事項について提言を求めるものである。